



2020年10月12日

各位

会社名 株式会社ビットワングループ
 代表者名 代表取締役社長 邵 賛
 (コード番号 2338 東証第二部)
 問合せ先 取締役管理部長 村山 雅経
 T E L 03-6910-0571 (代表)

2021年2月期における第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値 の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当期(2020年3月1日～2021年2月28日)の第2四半期連結累計期間決算における2020年4月10日に公表しました当第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異についてお知らせいたします。また、当社は、これを受けて、当期の通期業績予想を修正することを本日開催の取締役会にて決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 当第2四半期連結会計累計期間の予想と実績値の差異(2020年3月1日～2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	175	△120	△120	△120	△11.14
実績値(B)	112	△213	△203	△216	△20.10
増減額(B-A)	△63	△93	△83	△96	
増減率(%)	△36.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年2月期第2四半期)	249	△182	△188	△199	△24.76

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、2020年7月10日付「フィンテック事業の廃止に関するお知らせ」の中でお知らせしたように、フィンテック事業の廃止を決定し、同年8月17日付「事業譲渡及び特別損失発生に関するお知らせ」の中でお知らせしたように、同年同月31日、当社グループが運営していた2つの仮想通貨交換所を事業譲渡することにより、経営資源を5G技術とAI技術を融合した関連事業の立上げのために集中させてまいりました。そのような状況の中、売上高減の主な理由としては、アイラッシュケア事業において新型コロナウイルスの影響による、サロン及び商材の売上高の未達成によるものです。

以上の理由により、売上高は、予想値175百万円と比較して63百万円減少(36.0%減)の112百

万円となりました。

営業利益の差異 93 百万円減につきましては、売上減少による売上総利益減少、本社管理部門及びシステムソリューション事業における販管費の増加によるものです。

経常利益の差異 83 百万円減については、上記に加えて、仮想通貨相場の変動による仮想通貨差益及び主としてアイラッシュケア事業における持続化給付金等の助成金収入によるものです。

親会社株主に帰属する当期純利益の差異 96 百万円減については、上記に加えて、フィンテック事業における事業譲渡損によるものです。

3. 当期通期連結業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	400	△180	△180	△180	△16.70
今回修正予想(B)	250	△380	△390	△400	△37.13
増減額(B-A)	△150	△200	△210	△220	
増減率(%)	△37.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	456	△295	△311	△321	△35.95

4. 修正の理由

当第2四半期累計期間（当期上期）においては、新型コロナウイルスの影響により、アイラッシュケア事業が低迷いたしました。当期下期（2020年9月1日～2021年2月28日）においても、新型コロナウイルスの影響が、継続することを前提としアイラッシュケア事業の売上を下方修正いたしました。その他、フィンテック事業の廃止に伴い、当期首時点で見込まれていたフィンテック事業の売上を除外したものです。

また当期上期において、本社管理部門及びシステムソリューション事業における人件費等の販管費の見込額に増加があり、当該増加については、新規事業の早期立ち上げ等のために、当期下期も継続するものと考えられることから、販管費については、当期上期の実績値に基づき、当初の予定数値より積み増して修正したものです。

以上

（注）本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。